

「 民 法 」

120分

(注意：【問題1】【問題2】の両方に解答すること。解答はすべて解答用紙に記入すること。)

【問題1】

Aには、20歳の息子Bがいる。Aは、Bが仕事に就かないでぶらぶらしていることについて、日頃から小言を言っていた。ある日、Aは、BがCから300万円の借金をしていることを知り、親として借金を返してやりたいと考えたが、それをBに告げると、Bは「親に世話にはなりたくない」といって、これを拒否した。この場合、AがBの借金を消滅させるためには、いかなる法律的方法があるか。AC間に新たな合意を必要としない場合と、必要とする場合とに分けて論じなさい。

【問題2】

以下の各事案において、それぞれXY間における法律関係はどうか、答えなさい。
なお、以下の各事案は、それぞれ別個の独立した事案である。

- (1) AはXに対し、2008年1月5日、Aが所有するパソコンを5万円で売却した。代金の支払いとパソコンの引き渡しは、1月15日に同時履行する約束であった。ところが、1月10日、AはYに対し、同じパソコンを代金6万円で売却してしまった。Yは同日、代金を全額支払ったのであるが、Aから「1月15日提出予定のレポートを作成しなければいけないので、それまでこのパソコンを使わせて欲しい」との申し出があり、Aにパソコンをそのまま預けておくことにした。
- (2) AはXに対し、2008年1月5日、Aが所有するパソコンを5万円で売却した。Xは同日、代金を全額支払ったのであるが、Aから「1月15日提出予定のレポートを作成しなければいけないので、それまでこのパソコンを使わせて欲しい」との申し出があり、Aにパソコンをそのまま預けておいた。ところが、1月10日、AはYに対し、同じパソコンを代金6万円で売却してしまった。Yも同日、代金を全額支払ったのであるが、AからXに対するのと同様の申し出があったので、しばらくAにパソコンをそのまま預けておいた。すると、1月15日、XがYのところへやって来て、「そのパソコンは、1月5日に自分が買ったものだ。代金も支払ってある。」と言うので、初めて聞く話に驚いたYは、すぐにその足でAのところへ行き、Aからパソコンを引き取ってきた。